

研修15 書くことについて②

○研修のねらい

「研修15」では、「研修14」で学んだことを基に、学習の流れや効果的な教材・教具の活用等、外国語科「書くこと」の具体的な授業づくりについて考えることを通して、1単位時間の中で、「書くこと」を取り入れた活動を設定できるようになることを目指します。

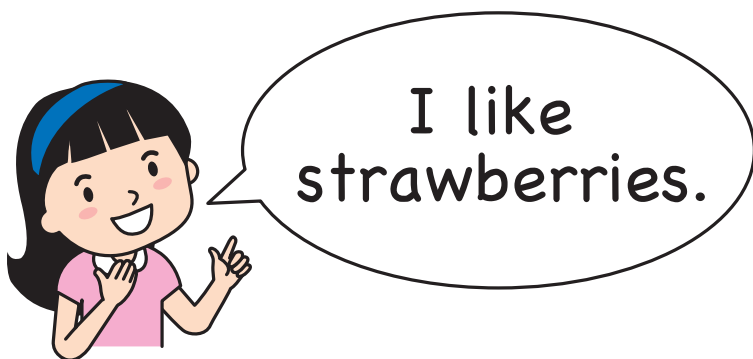
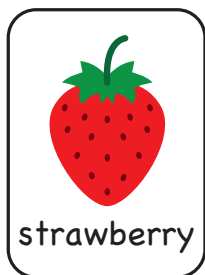
書く活動をどのように行うか

「書くこと」の活動は、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したり書いたりすることから行います。単元指導計画の中に「書くこと」を入れていき、単語やフレーズが定着するようにするようにします。

その際、音声で十分に慣れ親しんだ後に児童が文字を書きたくなる場面設定を行うことにより、自信をもって学習した単語や理解したフレーズを書いたり、書き写したりすることができます。

○絵カード

絵カードには、「絵」と「英単語」が記載されており、「書くこと」の指導にも活用することができます。



“Let's go to Italy.”の学習

活動によって、カードの中に様々な情報を記載して活用することもできます。

左の写真の絵カードには、表面に国名と国旗、裏面にその国の有名な建物や食べ物等の情報を記載してあります。これを全体に提示し、国名等を発音した後、旅行業者役と旅行者役に分かれてロールプレイを行うアクティビティに活用しています。

○「書くこと」を取り入れた1単位時間の計画例

学年：5 When is your birthday? (We Can! 1 Unit 2)			
<p>目標：・活字体の大文字の書き方や、季節や誕生日の言い方や誕生日の尋ね方や答え方が分かる。</p> <p>・祭りや行事に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を聞き取るとともに、好みや欲しい物、誕生日を尋ねたり答えたりして、伝え合う。慣れ親しんだ表現等を推測しながら読んだり相手に伝える目的をもって書き写したりする。</p> <p>・他者に配慮しながら好みや欲しい物、誕生日を尋ねたり答えたりして伝え合おうとする。</p>			
<p>準備物：・We Can! 1 ・絵カード（月、行事、スポーツ等） ・ICT 機器</p> <p>・音声教材 ・映像教材 ・誕生日カード用の用紙 ・文字練習用紙（ノート）</p>			
本時の目標（5/7時）：大文字の書き方が分かり、大文字を書く。			
時間	○学習内容 ・児童の活動	●指導上の留意点 ☆評価(方法)	◇教材・教具
8分	・挨拶をする。 ・チャンツをする。	●これまでに学習した表現を振り返りながらチャンツを行う。 ●繰り返し発音させるようにする。	◇絵カード ◇ICT 機器 ◇音声
10分	○子供たちの誕生日や好きな物や、欲しい物について聞くこと。 ・友達の好きな物を知る。 ・誕生日を尋ねたり答えたりする。	●英語での表現を黒板に貼ったり、ICT 機器を活用して映し出したりする。 ●ペアを作り、やり取りをする。 A：When is your birthday? B：My birthday is ○○.	◇絵カード ◇ICT 機器 ◇映像
12分	○誕生日カードを書くこと。 ・カードを渡す相手の誕生月の単語を巻末カードから選んで並べる。 ・カードを渡す相手にプレゼントしたい物の絵を描いて、誕生日カードを完成させる。	●絵カードをヒントに相手の誕生月の単語を選ばせるようにする。 ●児童が、相手の誕生日や“HAPPY BIRTHDAY.”を誕生日カードに書き写すことができるように、黒板に英語での表現を掲示する。	◇ We Can! 1 の巻末カード ◇誕生日カード用の用紙 ◇絵カード
10分	○アルファベットの大文字を書くこと。 ・U、V、W、X、Y、Zを書く。	●それぞれ、発音と文字が一致するよう指導する。 ☆“HAPPY BIRTHDAY.”等アルファベットを書いている。(誕生日カード、文字練習用紙)	◇文字練習用紙（ノート）
5分	○学習の振り返りをする事。 ・挨拶をする。	●本時のセンテンスを復習する。 ●英文や単語等、今日の学習で分かったことを話させるようにする。	

※平成29年9月21日に開催された新教材説明会配付資料を基に作成

研修15 書くことについて②

○事前に準備する物

- ・ 小学校学習指導要領解説 外国語編（文部科学省 平成29年7月）
- ・ 絵本や英字新聞、絵カード等、研修に応じた教材・教具
- ・ 研修15「解説編」（P74、75） ・ 演習シート（P98、99）

○研修の留意点

- ・ P71「『書くこと』の言語活動例(ア)～(エ)」に対応した具体的な活動を考えるため、その活動のねらいを明確にすること。

○研修例（45分）

時間	研修項目	研修内容	使用する物
10分	○外国語科「書くこと」の言語活動について共通理解すること。	○ウォームアップを行う。 ○研修のねらいを伝える。	・ 本書P74、75
30分	○外国語科「書くこと」の具体的な活動の流れを考えること。	○P74「書く活動をどのように行うか」について説明する。 ○外国語科「書くこと」の言語活動について、具体的な活動の流れを考える。 ・ P71「『書くこと』の言語活動の具体例」や学習指導要領を確認し、具体的な活動の流れを考える。 例：言語活動例(ア)～(エ)ごとにグループを作り、協議を行う。 ・ 絵カード等を用いて、考えた活動の一場面を模擬授業するなど、「書くこと」の指導についてのイメージをもてるようにする。	・ 本書P71 ・ 小学校学習指導要領解説 外国語編 ・ 演習シート P98、99 ・ 絵カード ・ 絵本 等
5分	○研修を振り返ること。	○研修を通して学んだこと、今後の検討事項等を共有する。	

○研修例（15分）

時間	研修項目	研修内容	使用する物
8分	○外国語科「書くこと」の概要や活動について理解すること。	○研修のねらいを伝える。 ○学習指導要領解説「書くこと」の概要や活動について確認する。 ・絵本や絵カード等「書くこと」に使用できる教材を知る。	・本書P74、75 ・絵カード等
7分	○外国語科「書くこと」の具体的な活動の流れを知ること。	○外国語科「書くこと」の言語活動について、具体的な活動の流れについて説明する。	・演習シート例 P98



新学習指導要領における外国語科「書くこと」の扱い

コラム

「書くこと」の内容についても、「読むこと」と同様に、中学校の前倒しとしてではなく、中学年における外国語活動で音声や基本的な表現に慣れ親しみ、外国語の学習への動機付けを高めた上で、高学年から発達の段階に応じて段階的に書く活動を行うことが大切です。

「書くこと」に関しては、児童が単語の綴りを覚えることや、文を書けるようにすることではなく、「語順を意識しながら書き写すことができるようにする」、「自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に書くことができるようにする」といった実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けることを目指します。